

銚子七中  
学校だより

# 坂東太郎

令和元年12月18日  
第20号

## 校長閑話

COUNT DOWN 閉校まであと 469日

絶景！富士山が見えました。山梨県や静岡県では当たり前前の景色も千葉県から、しかも東端にある銚子から富士山が望めることにただ驚嘆です。先月29日に千葉科学大学を訪問した際に、屏風ヶ浦の西端に富士山の姿がくっきりと。大学職員によると、1年を通して富士山を望むことができる日は数少なく、銚子からおおよそ200 km 離れているだけに、様々な気象条件が揃わないと難しいとのことでした。

玄関ラウンジに屏風ヶ浦とともに富士山が収まるパノラマ写真を掲示しておりますので、来校の際にはぜひご覧ください。来る令和2年の正月には、きっと富士山の初夢が見られると信じています。



## 11月を振り返って



### 11月5日（火）避難訓練

銚子市内において地震や津波などの非常災害に関する避難訓練を全市一斉に実施することで緊急時における危機意識を高め、生徒の生命の保持・安全の確保のための万全な対応を図る目的で、13:30に地震が発生したことを想定し、避難訓練が行われました。本校では高台に位置するため津波のための三次避難はありませんでしたが、豊里小学校と幼稚園で、本校グラウンドへ避難をしてきました。中学生も小学生、幼稚園児の皆さんも、避難訓練の重要性をよく理解した上で、真剣な態度で避難訓練に参加することができました。

### 11月6日（水）銚子市小中合同音楽会

銚子体育館にて市内の小中学校が一堂に会して、器楽演奏や合唱を披露する音楽会が開催されました。主に小学校は合唱、そして中学校は吹奏楽部の演奏が中心でした。その中でも唯一本校は2年生が七中祭でも発表した「空駆ける天馬」を合唱で披露しました。七中祭とは違い広い体育館での発表は、音取りが大変だったようですが、堂々とした発表、そして美しいハーモニーは小学生の合唱の手本となったようです。

### 11月29日（金）千葉科学大学へ

例年2年生は地元の大学に見学へ行きます。そこでは学内の紹介と危機管理学部の学生による実験講座の聴講をさせていただきます。素晴らしい設備の整った学校施設を案内していただき、生徒は行く先々で事務局の方の説明にしっかりと耳を傾けていました。

また、実験講座では指導してくださった大学生の楽しく、そしてテンポの良い説明に大きな歓声と拍手が起こりました。その後、学食にてハンバーグラUNCHの体験試食をさせていただきましたが、広々としたランチルームでは、食欲も更に増したようです。

## インドはい〜んど！？ ⑪



インドではヒンズー教徒が多数を占めますが、南インドではクリスチャンが多いことからクリスマスも無縁ではないようです。当時私が住んでいたニューデリーの住居には3階にデンマーク人がいたことから、クリスマスにはパーティーを開催し盛り上がったものです。その時テーブルに上がっていたのが、ザワークラウト（キャベツの漬物）とシュトーレン（パウンドケーキのような菓子パン）でした。いづれも、ドイツを代表する料理ですが、「ヨーロッパではクリスマスシーズンに欠かすことのできない料理の一つです。」と説明をしてくれました。ザワークラウトに醤油を加えると、和食に合うことを後ほど知り、今でも自分の大好きな食べ物の一つとなっています。



